

2018 年 5 月 18 日

The Emerging Markets Weekly

来週の新興国通貨は軟調推移か/中国、ブラジルの金融政策レビュー

新興国市場: 今週の新興国通貨は軟調な値動きとなった。週初 14 日はロス米商務長官が「6 月 1 日までに EU と通商交渉がまとまらなければ、鉄鋼やアルミに関して制裁関税を課す」との発言をきっかけにユーロが下落し、ドル買い優勢地合いになると新興国通貨は上値重く推移した。15 日は米 4 月小売売上高が予想を下回るものの、3 月分が上方修正されたことから米経済は引き続き堅調との見方が広がり、また米 10 年国債利回り上昇も相俟ってドル相場が騰勢を強めると新興国通貨は下落した。16 日はイタリアで連立政権の協議を進めている反 EU 政党の「五つ星運動」と「同盟」が ECB に対して 2,500 億ユーロの債務免除を要請するとの報道を背景にユーロが下落。また、米 10 年国債利回りが 3.10% まで上昇する動きに連れドルは強含んだが、新興国通貨はまちまちとなった。17 日は米 10 年債金利が上伸しドル買いの流れが継続する中、新興国通貨の大半の通貨は軟調な値動きとなった。

アジア: 16 日にタイ中央銀行 (BOT) は金融政策委員会 (MPC) を開催し、政策金利を 1.50% に据え置いた。声明文では、緩和的な金融政策スタンスは経済成長に貢献し続けており、時間はかかるだろうが総合インフレ率を目標に向かって上昇することを持続的にサポートしているとした。対ドルで THB は下落しているが、貿易相手国との動きと同様であるとし、特段の懸念を示さなかった。韓国銀行 (中央銀行、BOK) の李総裁が、雇用の伸びが低迷し続ける中で景気の先行きを楽観視するのは難しいと述べたことを受け KRW は軟調となった。インドシア中央銀行 (BI) は 17 日に金融政策会合を開催し、政策金利を 25bp 引き上げ 4.50% とした。同時に上限金利の翌日物貸出ファシリティ金利と下限金利の翌日物預金ファシリティ金利も 25bp ずつ引き上げ、それぞれ 5.25% と 3.75% とし、コリドーは 1.50% ポイントに維持した。今回の金融政策は、世界的な金融市場において流動性が低下し、リスクが高まる中で経済の安定性を維持するために必要な措置としている。

中東欧・アフリカ: TRY は 11 日のエルドアン大統領による「高金利が諸悪の根源」との発言や 14 日の大統領選挙と議会選挙に勝利すれば、トルコ中央銀行 (CBRT) の金融政策に関与を強める考えを示したことが嫌気され TRY は下げ足を早めた。16 日に CBRT は TRY 安を阻止する方針を表明し TRY は反発したが、17 日に売り戻される展開となった。

ラテンアメリカ: 北米自由貿易協定 (NAFTA) の再交渉につき、目処と見られていた 5 月 17 日を過ぎても妥結しなかつことが嫌気され MXN は下落。BRL は大統領選を巡る懸念から下押しされた。ブラジル中央銀行 (BCB) は 16 日に金融政策委員会 (COPOM) を開催し市場予想に反して政策金利を 6.50% に据え置いた。声明文では次回 COPOM (6 月 20 日) でも政策金利を据え置く方針を発表するとともに、利下げサイクルの終了を示唆した。

国際為替部
マーケット・エコノミスト
佐々木 貴彦
03-3242-7065
takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
多田 健太
03-3242-7065
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

市場概観

来週の新興国通貨は軟調推移か

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

新興国通貨は米金利の動向に左右される相場展開が続いている。先週 10 日に発表された米 4 月消費者物価指数 (CPI) が市場予想を下回り、米金利が低下すると新興国通貨は上昇。しかし、今週の 15 日に発表された米 4 月小売売上高の良好な結果を受けて米 10 年債金利が 2011 年 7 月以来の高水準まで上昇する展開に新興国通貨は反落した。来週は主要なイベントが予定されていないものの、米金利が上昇基調となる中で新興国通貨は軟調地合いが続くだろう。

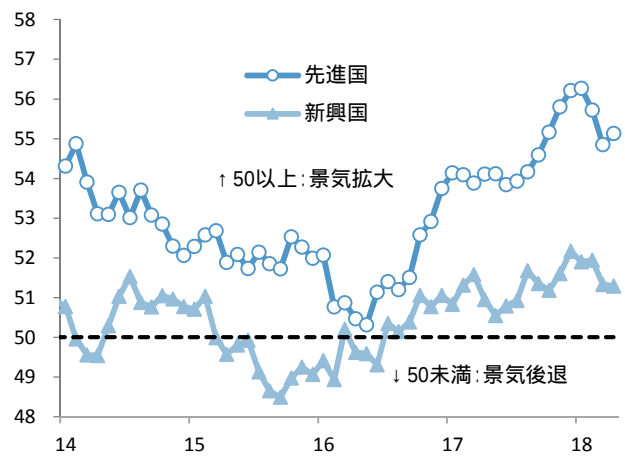
但し、経常赤字国の通貨とそれ以外の通貨で下落率が大きく異なる可能性がある。実際、今週は経常赤字国の通貨である TRY、ZAR、BRL、MXN が大幅に値を下げ、一方、それ以外の通貨は概ね前週からのレンジ内で推移し、米金利が節目と見られる 3.10% を超えた後でもその傾向は変わっていない。先週 9 日に行われた総選挙で 1957 年の独立以来で初となる政権交代が行われ、経常黒字国ながら政治の不透明感が強いマレーシアですら、MYR はバンク・ホリデー明けの 15 日の寄り付きこそ大きく下落したが、その後は大きく買い戻された。

背景にあるのは新興国経済と株式の堅調推移だ。新興国の 4 月製造業 PMI は 51.3 と 3 月から横ばいとなったが、景気拡大/縮小の分かれ目となる 50 を 2016 年 7 月から上回っている (図表 1)。先進国の 4 月製造業 PMI が高水準で推移していることを踏まえれば、当面の新興国 PMI も 50 を上回り続ける公算が大きい。また、新興国株運用のベンチマークである MSCI 新興国株価指数は底固めの様相を見せているほか、市場参加者が予想する同指数の先々の変動率を示す VIX 指数は低下基調にある (図表 2)。新興国全体で見れば景気拡大と株式市場の落ち着きが予測される中、投資家は経常赤字など懸念材料が多い国からは資金を引き上げる一方で、それ以外の国では資金を滞留させ続けていると見られる。こうした状況は来週も続き、新興国通貨の多くは下落幅が限定的となる一方、経常赤字国の通貨は軟調推移になる展開を予想する。

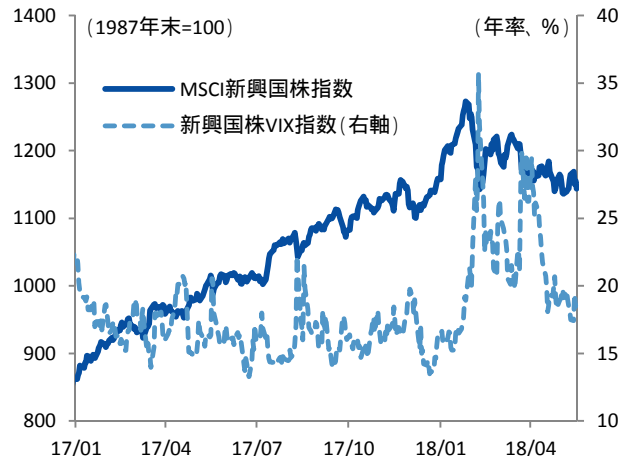
とりわけ経常赤字国の中でも大幅に下落する恐れが強いのが TRY である。トルコのエルドアン大統領は同国が高インフレに見舞われる中でも 11 日に「高金利が諸悪の根源」と発言し、金利の引き下げが必要との考えを改めて示した。9 ~ 10 日にかけて、トルコ中央銀行 (CBRT) のチェティンカヤ総裁と経済関連当局者らで緊急会合を実施し、TRY 安抑制のため緊急利上げが期待されていた中での発言だったため、市場は失望し TRY は前日比で約 ▲2% 値を下げた。さらに 14 日はエルドアン大統領が 6 月 24 日の選挙で勝利すれば、金融政策に対する関与を強める考えを示した。完全な大統領制に移行した後は、自身の利下げ要求に「CBRT は従わなければならない」と中銀の独立性まで脅かす発言を受け TRY は続落した。16 日に TRY が最安値を更新する中、CBRT は「市場を監視し、必要な措置を取る」と声明を発表したことで TRY は反発したが、エルドアン大統領の圧力がかかる状況下で利上げに踏み切るかは不透明であり、下値不安は拭えない。

なお、来週は北朝鮮情勢の緊迫化が新興国通貨全体を押し下げるリスクがある。16 日に北朝鮮の朝鮮中央通信は南北閣僚級会談への参加を中止すると報じた。北朝鮮は 11 日から行われている米韓合同軍事演習に対し「我々に『最大の圧迫と制裁』を加えようとする米国と南朝鮮 (韓国) の変わらぬ立場の反映で、板門店宣言に対す

る露骨な挑戦だ」とし、6 月 12 日に予定されている米朝首脳会談の実現が危ぶまれている。今後、北朝鮮が首脳会談のキャンセルを通知するなど、同国が態度を硬化させた場合は新興国通貨が下落すると考える。

図表 1: 先進国と新興国の製造業 PMI


出所: Markit、みずほ銀行

図表 2: MSCI 新興国株価指数と新興国株 VIX 指数


出所: MSCI、シカゴ・オプション取引所、ブルームバーグ、みずほ銀行

中国

金融政策報告書レビュー

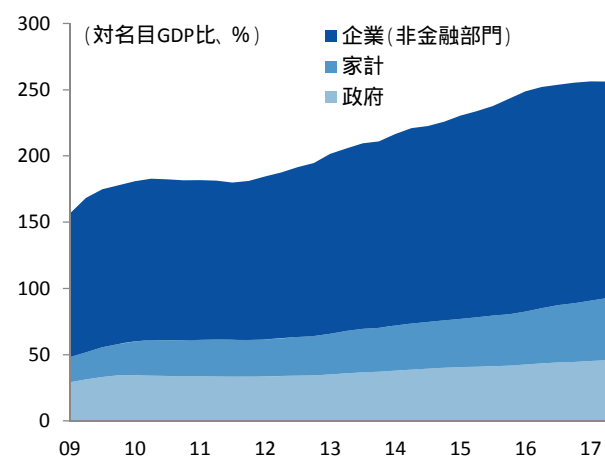
マーケット・エコノミスト
佐々木 貴彦
03-3242-7065
takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

5 月 11 日に中国人民銀行(PBoC)は 2018 年 1～3 月期の金融政策報告書を公表し、「穏健かつ中立」(やや引き締めの)な金融政策は成果を出しているとの認識を示した。具体的には、市中の流動性が合理的な水準で維持されている中で与信の伸びが抑制されたことなどを挙げている。とりわけ紙幅を割いて報告したのは、対名目 GDP 比で見た国内債務残高(除く金融機関)の上昇鈍化である。同報告書によれば、2017 年における国内債務は GDP 比+250.3%となり、伸びは前年比+2.7%と 2012～2016 年の平均(前年比+13.5%)を大きく下回った。過去の数値が取得可能な BIS が集計している国内債務残高を確認しても上昇ペースの鈍化は明らかとなっている(図表 3)。国内経済を下押しせずに債務増大に歯止めをかけたことは、習近平政権下では初めてのことであり、確かに大きな功績であろう。

同報告書で PBoC は「穏健かつ中立」な金融政策を今後も維持していくと述べているが、実際は昨年後半から緩和方向にやや傾斜している。2017 年 9 月 30 日に全ローンに占める中小零細業や農業などへの貸出割合が 1.5%を上回る銀行の預金準備率(RRR)を 2018 年から 0.5%ポイント引き下げることを発表(貸出割合が 10%を超える場合は引き下げ幅が 1.5%ポイント)。さらに 2018 年 4 月 17 日には、中期貸出制度(MLF)を通じて PBoC から借り入れていた金額を金融機関に返済させる一方、RRR を 1%ポイント引き下げる措置を実行した。一連の緩和策を受けて、金融機関の調達金利のベンチマークである上海銀行間取引金利(Shibor、3 か月物)は 2017 年末(4.9133%)をピークに足許は 4.0%近辺と 2017 年 2 月以来の低水準まで低下した(図表 4)。

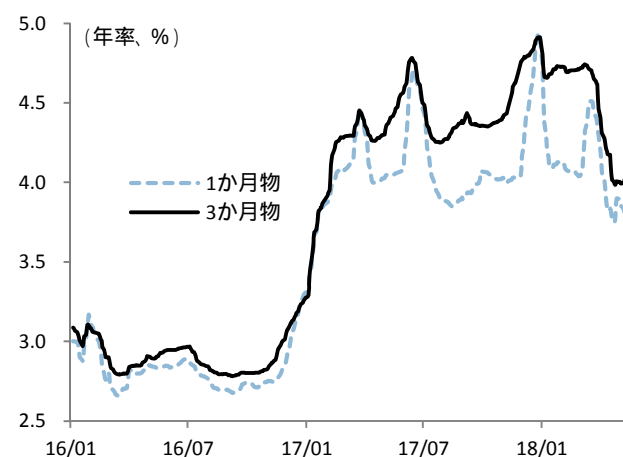
今後は Shibor の低下などを受けて、消費や投資が回復するかが PBoC の金融政策スタンスを決める大きな要因になると考える。15 日に発表された 4 月小売売上高は前年比+9.7%、4 月固定資産投資は前年同期比+7.0%とそれぞれ 3 月から減速した。もっとも、同日発表の 4 月鉱工業生産は前年比+7.0%と 3 月(同+6.0%)から加速するなど堅調な結果となる経済指標があるほか、金融政策の効果はラグを伴って表れる傾向があることを踏まえれば、現時点で追加緩和を見込むことは難しい。

図表 3: 中国 国内債務(企業、政府、家計)



出所: BIS、みずほ銀行

図表 4: 中国 上海銀行間金利



出所: CFETS、ブルームバーグ、みずほ銀行

ブラジル

金融政策決定会合レビュー

マーケット・エコノミスト
佐々木 貴彦
03-3242-7065
takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

5 月 15 日にブラジル中央銀行 (BCB) は金融政策決定会合 (COPOM) を開催し、政策金利である Selic レートを 6.50% に据え置いた。BCB は前回の会合 (3 月 21 日) で利下げを示唆していたほか、BRL が下落する中でもゴールドファイン BCB 総裁が「緩和スタンスを維持する」と発言していたため、ほとんどの市場参加者は 25bp の利下げを予想していた。

声明文において、BCB は世界情勢がブラジルにとって厳しくなりつつあるとし、具体的には先進国における金融政策の正常化を背景に新興国の金融資産に対する選好度が低下していることを挙げた。また、こうした状況が続けば物価の上振れリスクが増大するとし、資本流出に伴う BRL の大幅な下落が前回の会合から大きくスタンスを変える要因になったことを示した。

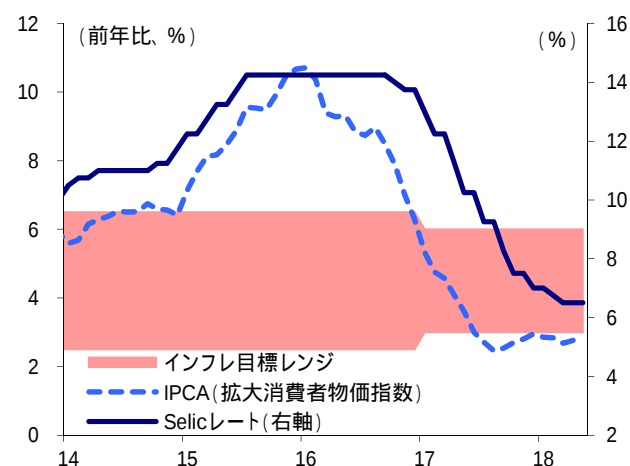
今後の金融政策について、BCB は追加緩和こそ不要としたが、一方で金融引き締めの可能性には言及しなかった。物価見通しを述べる段落では、BRL が足許に近い水準 (3.6) で推移し、政策金利を 2019 年まで据え置いた場合、インフレ率は前年比 +4.0% と物価目標レンジ (+3 ~ 6%) 内に収まるとの予測を示していることから、現在の市況に基づけば利上げの必要はないと判断している模様だ。

確かに BRL が 3.6 近辺での値動きとなるのであれば、BCB の判断は正しい。月次 GDP として参照される 3 月経済活動指数は前月比 ▲0.74% と 2 月 (同 ▲0.10%) からマイナス幅が拡大するなど、ブラジル経済は弱含み始めている。供給調整に伴う食料品価格の上昇が見込まれるが、冴えない景気動向に鑑みればインフレ率が大きく加速するとは想定しがたく、経済・物価情勢からは金融政策を変更する理由を見当たらない。

問題は BRL が安定するという前提が成立しないリスクが大きいことだ。米金利上昇を背景に新興国全体に対する資金流出圧力が強まる中、大統領選に伴う強い政治的不透明感を抱える BRL は年初来高値から足許まで約 ▲18% 下落した。その大統領選では財政再建路線の維持を掲げるアルキミン前サンパウロ州知事の苦戦が報じられるなど、選挙情勢は市場参加者の不安を掻き立てる方向で推移している。

こうした中、BCB が集計する市場参加者のインフレ予測値 (今後 1 年間) は上昇し続け、最新値は前年比 +4.21% と既に BCB が見込む +4.00% を上回った (図表 6)。選挙戦の投票日 (10 月 7 日) まで時間があるため、アルキミン氏が劣勢を跳ね返す可能性はあるものの、現在の流れが継続するようであれば BRL は軟調な値動きが続き、BCB も金融引き締めを検討せざるを得ない状況が来るだろう。

図表 5: ブラジル 拡大消費者物価指数と政策金利



出所: ブラジル地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

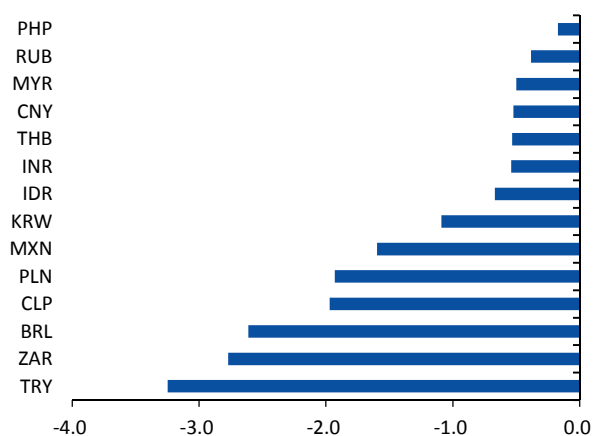
図表 6: ブラジル 市場参加者のインフレ期待(今後 1 年間)



出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグ、みずほ銀行

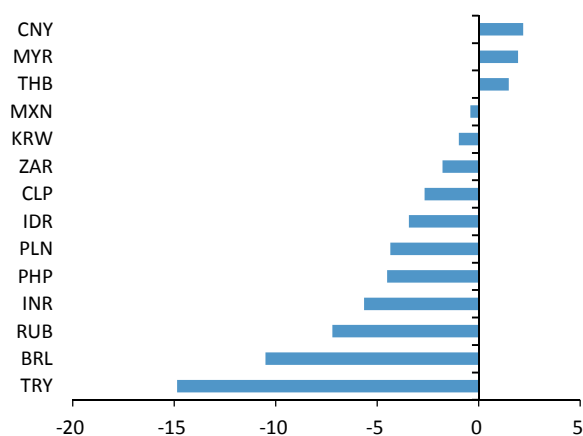
金融資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



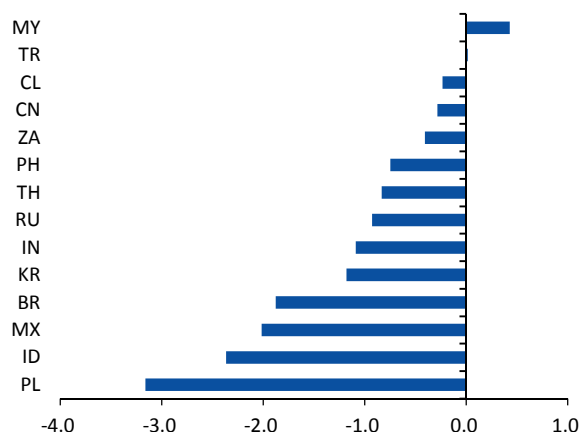
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



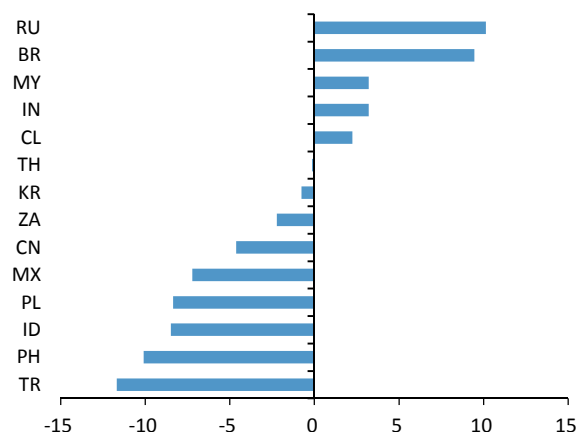
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価週間騰落率 (%)



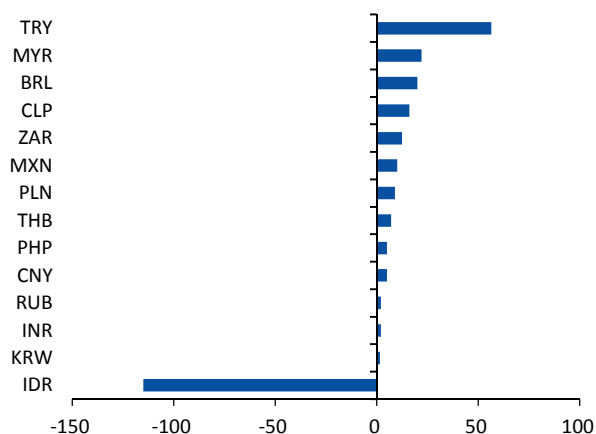
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価年初来騰落率 (%)



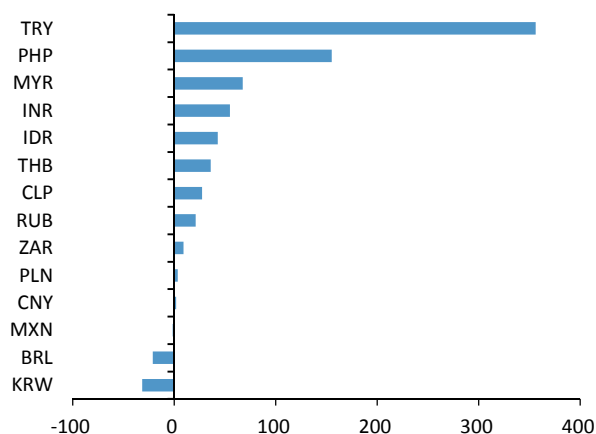
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

5 年物スワップレート週間変化(bp)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

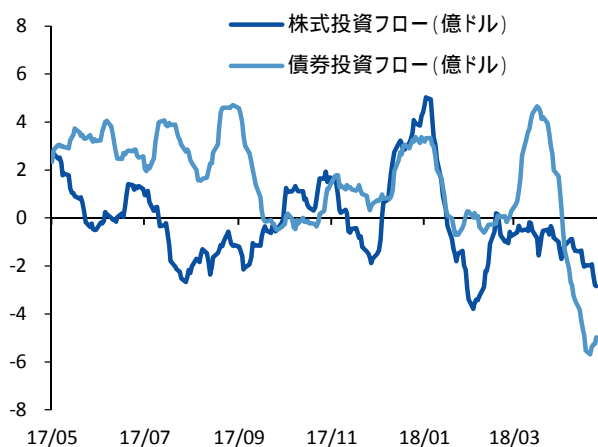
5 年物スワップレート年初来変化(bp)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

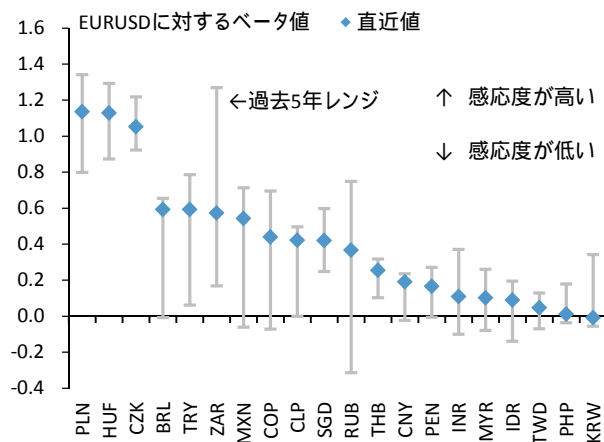
チャート集

主要新興国への証券投資フロー(4週間移動平均)



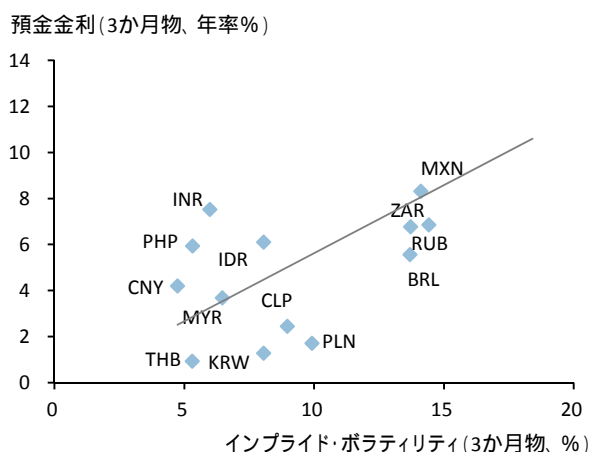
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



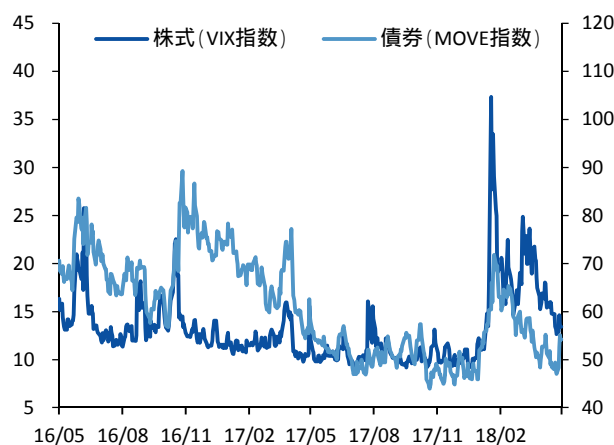
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



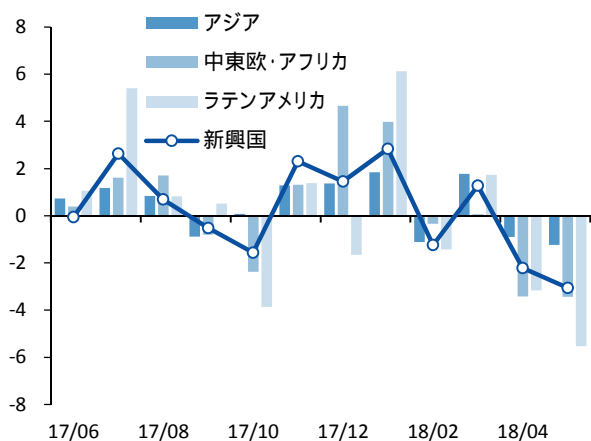
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



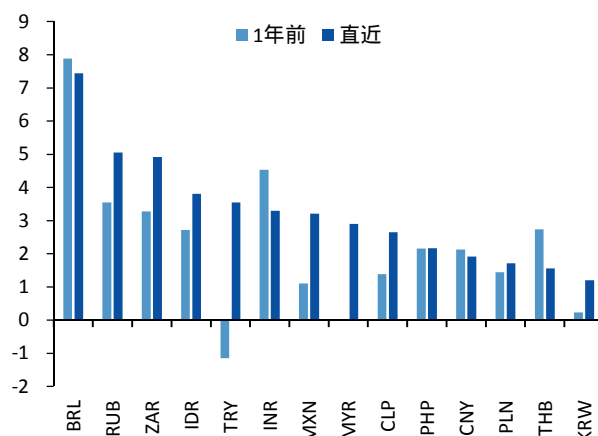
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率, %)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
5月14日 (月)	インド	CPI(前年比)	4.4%	4.6%	4.3%	--
15日 (火)	中国	小売売上高(前年比)	10.0%	9.4%	10.1%	--
15日 (火)	中国	鉱工業生産(前年比)	6.4%	7.0%	6.0%	--
15日 (火)	中国	固定資産投資(除農村部/年初来/前年比)	7.4%	7.0%	7.5%	--
15日 (火)	インドネシア	貿易収支	\$733m	-\$1629m	\$1092m	\$1123m
15日 (火)	フィリピン	海外送金(前年比)	3.7%	-9.8%	4.5%	--
15日 (火)	インド	輸出(前年比)	--	5.2%	-0.7%	--
16日 (水)	タイ	タイ中央銀行指標金利	1.50%	1.50%	1.50%	--
17日 (木)	シンガポール	非石油地場輸出(前年比)	7.3%	11.8%	-2.7%	-3.2%
17日 (木)	マレーシア	GDP(前年比)	5.6%	5.4%	5.9%	--
17日 (木)	インドネシア	7日物リバースレートの	4.50%	4.50%	4.25%	--
18日 (金)	フィリピン	総合国際収支	--	--	-\$266m	--
21日 (月)	タイ	GDP(前年比)	4.0%	--	4.0%	--
21日 (月)	台湾	輸出受注(前年比)	--	--	3.1%	--
21-24日	タイ	貿易収支(通関ベース)	-\$235m	--	\$1268m	--
23日 (水)	マレーシア	CPI(前年比)	--	--	1.3%	--
23日 (水)	シンガポール	CPI(前年比)	--	--	0.2%	--
23日 (水)	台湾	鉱工業生産(前年比)	--	--	3.1%	--
23日 (水)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	--	-110.7b	--
24日 (木)	シンガポール	GDP(前年比)	4.4%	--	4.3%	--
24日 (木)	韓国	韓国銀行7日間レートの	--	--	1.50%	--
25日 (金)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	--	--	5.9%	--
25日 (金)	台湾	GDP(前年比)	--	--	3.0%	--
中東欧・アフリカ						
5月14日 (月)	トルコ	経常収支	-4.15b	-4.81b	-4.15b	-4.52b
16日 (水)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	8.3%	7.6%	9.9%	10.1%
16日 (水)	南ア	小売売上高(実質値、前年比)	4.7%	4.8%	4.9%	4.2%
16日 (水)	ロシア	GDP(前年比)	1.5%	1.3%	0.9%	--
18-21日	ロシア	鉱工業生産(前年比)	1.2%	--	1.0%	--
21-22日	ロシア	PPI 前年比	6.4%	--	4.8%	--
22日 (火)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	2.4%	--	2.0%	--
22日 (火)	ロシア	実質賃金(前年比)	6.2%	--	6.5%	--
23日 (水)	南ア	CPI(前年比)	4.6%	--	3.8%	--
24日 (木)	南ア	PPI 前年比	--	--	3.7%	--
24日 (木)	南ア	SARB政策金利発表	--	--	6.50%	--
25日 (金)	トルコ	設備稼働率	--	--	77.3%	--
ラテンアメリカ						
5月16-17日	ブラジル	SELICレートの	6.25%	6.50%	6.50%	--
18日 (金)	メキシコ	オーバーナイトレートの	7.50%	7.50%	7.50%	--
22日 (火)	メキシコ	小売売上高(前年比)	--	--	1.2%	--
23日 (水)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	--	--	0.2%	--
23日 (水)	メキシコ	GDP(季調前/前年比)	1.7%	--	1.2%	--
24日 (木)	ブラジル	経常収支	--	--	\$798m	--
25日 (金)	メキシコ	貿易収支	--	--	1917.5m	--

注: 2018 年 5 月 18 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2018年 1～4月(実績)	SPOT	2018年 6月	9月	12月	2019年 3月	6月
対ドル								
エマーGINGアジア								
中国人民元	(CNY)	6.2431 ~ 6.5362	6.3672	6.35	6.40	6.45	6.45	6.45
香港ドル	(HKD)	7.8136 ~ 7.8509	7.8498	7.84	7.84	7.83	7.82	7.81
インドルピー	(INR)	63.246 ~ 66.939	67.699	68.0	69.5	68.2	65.0	64.0
インドネシアルピア	(IDR)	13263 ~ 13982	14058	13950	13950	13800	13500	13400
韓国ウォン	(KRW)	1054.18 ~ 1098.59	1081.10	1075	1065	1055	1050	1060
マレーシアリング	(MYR)	3.8533 ~ 4.0660	3.9695	4.02	4.12	3.98	3.85	3.72
フィリピンペソ	(PHP)	49.705 ~ 52.490	52.284	53.3	54.5	52.8	51.0	51.5
シンガポールドル	(SGD)	1.3009 ~ 1.3384	1.3422	1.34	1.36	1.33	1.32	1.30
台湾ドル	(TWD)	28.958 ~ 29.754	29.901	29.50	29.30	29.10	29.00	29.20
タイバーツ	(THB)	31.09 ~ 32.62	32.08	31.4	31.6	31.2	31.0	30.8
ベトナムドン	(VND)	22680 ~ 22830	22770	22880	23000	22950	22800	22750
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	55.5563 ~ 65.0446	62.1700	63.00	64.00	62.00	63.00	64.00
南アフリカランド	(ZAR)	11.5078 ~ 12.5461	12.6024	12.00	11.00	12.00	12.50	13.00
トルコリラ	(TRY)	3.7163 ~ 4.1934	4.4624	4.20	4.00	3.60	3.80	4.10
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	3.1214 ~ 3.5146	3.6972	3.42	3.50	3.30	3.27	3.25
メキシコペソ	(MXN)	17.9401 ~ 19.7361	19.7351	20.00	19.50	18.50	18.00	18.00
対円								
エマーGINGアジア								
中国人民元	(CNY)	16.537 ~ 17.543	17.406	16.85	16.25	15.50	15.50	15.19
香港ドル	(HKD)	13.326 ~ 14.505	14.114	13.65	13.27	12.77	12.79	12.55
インドルピー	(INR)	1.607 ~ 1.790	1.637	1.57	1.50	1.47	1.54	1.53
インドネシアルピア	(100IDR)	0.759 ~ 0.845	0.788	0.767	0.746	0.725	0.741	0.731
韓国ウォン	(100KRW)	9.634 ~ 10.681	10.239	9.95	9.77	9.48	9.52	9.25
マレーシアリング	(MYR)	26.449 ~ 28.395	27.876	26.62	25.24	25.13	25.97	26.34
フィリピンペソ	(PHP)	1.999 ~ 2.272	2.118	2.01	1.91	1.89	1.96	1.90
シンガポールドル	(SGD)	79.19 ~ 85.50	82.54	79.85	76.47	75.19	75.76	75.38
台湾ドル	(TWD)	3.585 ~ 3.843	3.706	3.63	3.55	3.44	3.45	3.36
タイバーツ	(THB)	3.344 ~ 3.525	3.454	3.41	3.29	3.21	3.23	3.18
ベトナムドン	(100VND)	0.4590 ~ 0.4992	0.4867	0.47	0.45	0.44	0.44	0.43
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.643 ~ 1.993	1.782	1.70	1.63	1.61	1.59	1.53
南アフリカランド	(ZAR)	8.710 ~ 9.293	8.792	8.92	9.45	8.33	8.00	7.54
トルコリラ	(TRY)	25.464 ~ 30.311	24.823	25.48	26.00	27.78	26.32	23.90
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	31.117 ~ 35.131	29.969	31.29	29.71	30.30	30.58	30.15
メキシコペソ	(MXN)	5.549 ~ 5.981	5.614	5.35	5.33	5.41	5.56	5.44

注:1.実績の欄は 2018 年 4 月 30 日まで。SPOT は 5 月 18 日の 7 時頃。2.実績値はブルームバーグの値。3.予想の欄は四半期末の予想。4.見通しの値は『Emerging Market Monthly(5 月 1 日発刊)』および『中期為替相場見通し(5 月 7 日発刊)』に基づく。

出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。